

## 「農」イノベーションひょうごの推進

### 目的

#### 異業種連携による県産農林水産物の新たな価値の創造

- 農林漁業者と様々な分野の事業者や研究機関が、交流や日常的に情報交換を行うことができる環境を構築
- 異業種連携によりイノベーションを誘発し、県産農林水産物を活用した、これまでにない新商品・新サービスの開発や、大きなスケールの創造的な事業展開を促進

### 交流・連携の環境づくり

#### 運営体制

「農」イノベーションひょうご推進協議会（平成26年5月15日設立）

会長：兵庫県農林水産部長

副会長：兵庫県農業協同組合中央会、（一社）兵庫県食品産業協会、  
国立大学法人神戸大学

会員募集

参画

【会員数】830（R7.3.31現在）

- ① 農林漁業者、② 食関連事業者
- ③ 他産業事業者、④ 研究機関
- ⑤ 支援機関（地域金融機関、商工団体、地方自治体等）

### 令和7年度 「農」イノベーションひょうごの取組

#### 《Step 1》—情報交換と会員間の交流を促進—

##### 1 異業種交流の推進

新たな出会いや異業種連携を生み出す会員相互の交流を促進。

###### （1）交流・連携セミナーの開催

県内外の先進取組事例を学び、生産者と食関連事業者などとの連携による新商品・新サービス等の開発などを指向して、セミナーや交流会を開催。



###### （2）日常的に会員間で情報交換等できる環境の整備

協議会ホームページの会員専用ページを改修し、各会員の概要や連絡先等を閲覧でき、会員同士の情報交換を促進。

また、SNSなどを活用し、セミナーやアドバイザー派遣の実施状況、開発された商品等を発信。



ホームページ



NOU\_INNO\_HYOGO

ほか、Facebook・  
Xでも発信中



#### 《Step 2》—異業種連携による取組の推進—

##### 2 アグリビジネス創出支援

県産農林水産物を用いた新商品や新サービス等のアグリビジネス創出に向け、3者以上の多様な事業者が参画する共同チームによるプロジェクトを支援。

必要な経費（設備・機器費、原材料費、消耗品費）に対し補助金を交付（1,000千円以内、補助率2/3以内、年5件程度）



規格外山田錦を使用したプレミックス粉

##### 3 クロスイノベーション創出支援

セミナー・交流会その他の協議会活動から生まれた「新プロジェクト」のビジネス化に向けてアドバイザーを派遣し、農林漁業者と食関連事業者等が連携した商品開発などを支援。企画立案、マーケティング、効果的なPRなどの支援を通じて顧客ニーズを捉えた商品企画に誘導。

併せて、オープンファームの開設や取組拡大に向け、新たな体験プログラムの開発等を支援。



##### 4 国庫交付金を活用した支援

農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）を活用し、異業種交流やプロジェクト調査・検討で生まれたビジネスの展開を支援（推進事業＝ソフト支援、整備事業＝ハード支援）。



淡路島ワイナリー

#### 兵庫県地域資源活用・地域連携サポートセンターの運営

6次産業化や地域資源の活用、多様な事業者との連携による価値創出に取り組む事業者に対して、経営改善戦略作成のためのサポート活動を実施。

市場ニーズ・消費者の傾向を把握できず販売が安定しない商品の支援については、クロスイノベーション創出支援事業や各種交流会を活用することで、売れる商品へとブラッシュアップ。

#### 《成果例》



兵庫県産大豆を使用した、コレステロール0の体に優しい豆乳ドレッシング（マヨネーズタイプ）



淡路産の農林水産物を提供するレストランと淡路産ブドウを活用したワイナリーで構成される複合施設の開設



豊岡市産の日高味噌を使った「神鍋高原ピーマン味噌」